厚岸町分別収集計画 (第10期)

令和4年6月

厚 岸 町

目 次

1	計画策定の意義	P 2
2	基本的方向	P 3
3	計画期間	P 3
4	対象品目	P 4
5	各年度における容器包装廃棄物排出量の見込み	P 5
6	容器包装廃棄物の排出の抑制を推進するための方策に関する事項	P 5
7	分別収集をするものとした容器包装廃棄物の種類及び当該容器包装廃棄物の収集に係る分別の区分	P 6
8	各年度において得られる分別基準適合物の特定分別基準適合物ごとの量及び容器包装リサイクル法第2条第6項に規定する主務省令で定める物の量の見込み	P 7
9	各年度において得られる分別基準適合物の特定分別基準適合物ごとの量及び容器包装リサイクル法第2条第6項に規定する主務省令で定める物の量の見込みの算定方法	P 8
10	分別収集を実施するものに関する基本的な事項	P 9
11	分別収集の用に供する施設の整備に関する事項	P 10
12	その他容器包装廃棄物の分別収集の実施に関し重要な事項	P 13

1 計画策定の意義

快適でうるおいのある生活環境の創造のためには、大量生産、大量消費、大量廃棄に支えられた社会経済・ライフスタイルを見直し、循環型社会を形成していく必要があります。そのためには、社会を構成する主体がそれぞれの立場でその役割を認識し、履行していくことが重要となります。

当町は、ラムサール条約登録湿地である厚岸湖・別寒辺牛湿原を有し、令和3年3月30日に厚岸道立自然公園とその周辺地域が「厚岸霧多布昆布森国定公園」として指定され、国内はもちろんのこと国際的にも貴重な財産として、自然環境の保全をしていく義務と責務を負っています。

このような自然環境の中、当町の廃棄物処理施設は、平成18年度に供用を開始した最終処分場の残余容量が残りわずかとなっており、今後の不燃物埋立処理に関しては、令和6年度から釧路市が整備する最終処分場において、広域処理することが決定しているところですが、広域処理が開始されるまでについては、現在使用中の最終処分場の延命化を更に図っていきます。

可燃物の焼却処理については、令和2年1月から釧路広域連合へ加入し、同年11月より釧路広域連合清掃工場へ可燃物の搬入を行っています。

本計画はこのような状況の下、容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律（以下「法」という）第8条と令和2年3月に策定した「第2期厚岸町豊かな環境を守り育てる基本計画」に基づいて、一般廃棄物の^{たいそう}大宗を占める容器包装廃棄物を分別収集と地域における容器包装廃棄物の3R（リデュース・リユース・リサイクル）を推進し、最終処分量の削減を図る目的で、町民・事業者・行政がそれぞれの役割や具体的な推進方策を明らかにし、これを公表することにより、すべての関係者が一体となって取り組むべき方針を示したものです。

本計画の推進により、容器包装廃棄物の3Rを推進することによって、廃棄物の減量や最終処分場の延命化、温室効果ガスの削減、資源の有効利用が図られ、循環型社会の形成が図られるものであります。

2 基本的方向

本計画を実施するにあたっての基本的方向を以下に示す。

- ① ごみ排出抑制、再使用、リサイクルを基本とした地域社会づくり
- ② 町民・事業者・行政が一体となり、取り組むことによる環境への負荷の低減
- ③ 徹底した分別、リサイクルによる最終処分場の維持延命
- ④ ダイオキシン類排出抑制のための取り組み
- ⑤ 環境問題への取り組みへのアドバイス
- ⑥ 最新情報の提供、環境教育の充実

3 計画期間

本計画の計画期間は、令和5年4月を始期とする5年間とし、令和7年度に見直す。

4 対象品目

本計画は、容器包装廃棄物のうち、スチール製容器、アルミ製容器、ガラス製容器（無色、茶色、その他）、飲料用紙製容器、段ボール、紙製容器包装、ペットボトル、プラスチック製容器包装を対象とする。

表－1 対象品目

容器包装廃棄物の区分		具 体 例	除 外 品
金 属	アルミ製容器	飲料缶・食料品缶等	
	スチール製容器	飲料缶・食料品缶等	
ガ ラ ス 類	無 色	飲 料 用 ビ ン 等	乳白色ガラス クリスタル製ガラス ア ン プ ル (ほうけい酸ガラス)
	茶 色	飲料用ビン・ドリンクビン等	
	そ の 他	緑・青・黒色等のビン	
紙 類	飲料用紙製容器	牛乳・ジュース等	アルミ蒸着パック
	段 ボ ー ル	段 ボ ー ル 箱	ロウ引段ボール
	紙製容器包装	菓子箱・包装紙等	
プ ラ ス チ ク	ペットボトル	飲料用・しょうゆ用等	
	プラスチック製 容 器 包 装	食品袋（容器）・洗剤のボ トル・発泡容器（カップ麺）・ 食品トレイ等	

5 各年度における容器包装廃棄物排出量の見込み

(法第8条第2項第1号)

表-2 各年度における容器包装廃棄物排出量の見込み

	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
容器包装廃棄物排出量	685 t	700 t	657 t	643 t	632 t

6 容器包装廃棄物の排出の抑制を推進するための方策に関する事項

(法第8条第2項第2号)

容器包装廃棄物の排出の抑制の促進を図るため、以下の方策を実施する。

なお、実施にあたっては、町民・事業者・再生事業者等がそれぞれの立場から役割を分担し、相互に協力・連携を図ることが重要である。

① 環境教育・啓発活動の実施

学校や地域社会の場における副読本等を活用した教育、リサイクルの取り組みや、ごみ処理場の見学会、町広報誌などあらゆる機会を活用し、町民、事業者に対して、ごみ排出量や、最終処分場の逼迫、ごみ処理に係る経費など、ごみ処理の状況について情報を提供を行い、認識を深めてもらう。

更にごみの排出抑制、分別排出、再生利用の意義及び効果、ごみの適切な出し方に関する教育啓発活動に積極的に取り組む。

② 3R推進のための啓発

循環型社会を定着させるために、レジ袋の削減や簡易包装の推進、町内でリターナブル容器、再生品を扱う商店等を広く町民にPRする。

③ マイバッグ持参運動

買い物のときにはレジ袋をもらわないようにするため買い物袋（マイバッグ）の持参等の啓発活動を推進する。

7 分別収集をするものとした容器包装廃棄物の種類及び当該容器包装廃棄物の収集に係る分別の区分

(法第8条第2項第3号)

最終処分場の残余容量を考えた場合、その維持延命には、徹底した分別資源化が必要であり、このことから、今日までの分別収集に対する町民の協力度合い、町の施設や収集体制を勘案し、次の表－3のように定める。

表－3 分別収集をする容器包装廃棄物の種類

分別収集する容器包装廃棄物の種類	収集に係る分別の区分
主としてスチール製の容器	缶類 (スチール缶・アルミ缶)
主としてアルミ製の容器	
主として ガラス製 の容器 <div style="display: inline-block; vertical-align: middle; margin-left: 10px;"> { <ul style="list-style-type: none"> 無色のガラス製容器 茶色のガラス製容器 その他のガラス製容器 </div>	びん類
主として紙製の容器包装であって飲料を充てんするためのもの (原材料としてアルミニウムが利用されているものを除く)	紙パック
主として段ボール製の容器	段ボール
主として紙製の容器包装であって紙パック・段ボール以外のもの	紙類
主としてポリエチレンテレフタレート (PET) 製の容器であって飲料、しょうゆ等を充てんするためのもの	ペットボトル
主としてプラスチック製の容器包装であってペットボトル以外のもの	プラスチック (プラマークのついているもの)

8 各年度において得られる分別基準適合物の特定分別基準適合物ごとの量及び容器包装リサイクル法第2条第6項に規定する主務省令で定める物の量の見込み

(法第8条第2項第4号)

表-4 各年度の容器包装廃棄物の量 (単位：t)

	R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		R9年度	
主としてスチール製の容器	27.02		26.40		25.89		25.35		24.89	
主としてアルミ製の容器	34.65		33.92		33.20		32.52		31.92	
無色のガラス製容器	(合計) 21.13		(合計) 20.65		(合計) 20.25		(合計) 19.83		(合計) 19.48	
	(引渡) 20.83	(独自処理) 0.30	(引渡) 20.36	(独自処理) 0.29	(引渡) 19.96	(独自処理) 0.29	(引渡) 19.55	(独自処理) 0.28	(引渡) 19.20	(独自処理) 0.28
茶色のガラス製容器	(合計) 36.23		(合計) 35.40		(合計) 34.71		(合計) 34.01		(合計) 33.38	
	(引渡) 30.86	(独自処理) 5.37	(引渡) 30.16	(独自処理) 5.24	(引渡) 29.57	(独自処理) 5.14	(引渡) 28.97	(独自処理) 5.04	(引渡) 28.44	(独自処理) 4.94
その他のガラス製容器	(合計) 13.73		(合計) 13.41		(合計) 13.16		(合計) 12.88		(合計) 12.65	
	(引渡) 12.63	(独自処理) 1.10	(引渡) 12.34	(独自処理) 1.07	(引渡) 12.11	(独自処理) 1.05	(引渡) 11.85	(独自処理) 1.03	(引渡) 11.64	(独自処理) 1.01
主として紙製の容器であって飲料を充てんするためのもの(原材料としてアルミニウムが利用されているものを除く。)	1.85		1.85		1.77		9.63		1.70	
主として段ボール製の容器	114.75		112.13		109.95		107.70		105.73	
主として紙製の容器包装であって上記以外のもの	(合計) 10.26		(合計) 10.02		(合計) 9.83		(合計) 9.63		(合計) 9.45	
	(引渡) 0.00	(独自処理) 10.26	(引渡) 0.00	(独自処理) 10.02	(引渡) 0.00	(独自処理) 9.83	(引渡) 0.00	(独自処理) 9.63	(引渡) 0.00	(独自処理) 9.45
主としてポリエチレンテレフタレート(PET)製の容器であって飲料又はしょうゆその他主務大臣が定める商品を充てんするためのもの	(合計) 47.06		(合計) 45.98		(合計) 45.09		(合計) 44.16		(合計) 43.36	
	(引渡) 0.00	(独自処理) 47.06	(引渡) 0.00	(独自処理) 45.98	(引渡) 0.00	(独自処理) 45.09	(引渡) 0.00	(独自処理) 44.16	(引渡) 0.00	(独自処理) 43.36
主としてプラスチック製の容器包装であって上記以外のもの	(合計) 52.77		(合計) 51.56		(合計) 50.56		(合計) 49.52		(合計) 48.62	
	(引渡) 52.77	(独自処理) 0.00	(引渡) 51.56	(独自処理) 0.00	(引渡) 50.56	(独自処理) 0.00	(引渡) 49.52	(独自処理) 0.00	(引渡) 48.62	(独自処理) 0.00

9 各年度において得られる分別基準適合物の特定分別基準適合物ごとの量及び容器包装リサイクル法第2条第6項に規定する主務省令で定める物の量の見込みの算定方法

特定分別基準適合物等の量及び容器包装リサイクル法第2条第6項に規定する主務省令で定める物の量の見込み

= 容器包装廃棄物の排出量の見込み × 分別収集対象人口率 × 分別排出率

10 分別収集を実施するものに関する基本的な事項

(法第8条第2項第5号)

分別収集は、現行の収集体制を活用して行う。

表－5 分別収集の実施主体

容器包装廃棄物の種類		収集に係る 分別の区分	収集・運搬段階	選別・保管等 段階															
金 属	スチール製容器	缶 類 (スチール缶・アルミ缶)	委託業者による 指定回収品目	委託業者															
	アルミ製容器				ガ ラ ス	無色のガラス製容器	び ん 類	茶色のガラス製容器	その他のガラス製容器	紙 類	飲料用紙製容器	紙パック	段ボール	段ボール	その他の紙製容器包装	紙類	プ ラ ス チ ック	ペットボトル	ペットボトル
ガ ラ ス	無色のガラス製容器	び ん 類																	
	茶色のガラス製容器																		
	その他のガラス製容器																		
紙 類	飲料用紙製容器	紙パック																	
	段ボール	段ボール																	
	その他の紙製容器包装	紙類																	
プ ラ ス チ ック	ペットボトル	ペットボトル																	
	その他のプラスチック製容器包装	プラスチック (プラマークのついているもの)																	

11 分別収集の用に供する施設の整備に関する事項

(法第8条第2項第6項)

容器包装廃棄物の分別収集に係る収集・運搬・処理方法については、表6に示す。

表-6 分別収集の用に供する施設計画

分別収集する 容器包装廃棄物 の種類	収集に係る 分別の区分	収集容器	収集車	中間処理
スチール製容器	缶 類 (スチール缶・アルミ缶)	透明または 半透明の袋	平ボディ車	不燃物処理 施設、スト ックヤード、一時保 管施設
アルミ製容器				
無色のガラス製容器	び ん 類			
茶色のガラス製容器				
その他のガラス製容器				
飲料用紙製容器	紙 パ ッ ク	十文字に結束		ストックヤ ード
段 ボ ー ル	段 ボ ー ル			
そ の 他 の 紙 製 容 器 包 装	紙 類			
ペ ッ ト ボ ト ル	ペ ッ ト ボ ト ル	透明または 半透明の袋		リサイクル センター、 ストックヤ ード
プ ラ ス チ ッ ク 製 容 器 包 装	プ ラ ス チ ッ ク (プラマークのついて いるもの)			

表-7 分別収集に必要な施設計画（その1）

施設の種別	対象とする容器 包装廃棄物等の 種類、量等	施設等の仕様（形状・型式・ 能力・数量等）及び整備計画	管理 主体 等	参 考 欄 （現有施設状況）
【排出段階】				
1 排出容器		（仕様）	町民	平成4年より随 時分別収集
1.1 袋	a スチール缶 b アルミ缶 c びん類 d ペットボトル e プラスチック	材質：樹脂製の透明または半 透明の袋 容量：指定なし		
1.2 紐で縛る	f 紙パック g 段ボール h 紙類	材質：指定なし	町民	
2 集積場所	a~h	戸別ごみ箱の使用	町民	
【運搬段階】				
1 専用車両				
1.1 平ボディ車	a~h	（仕様） 型式：最大積載量2,350kg 数量：1台 型式：最大積載量2,600kg 数量：1台 型式：最大積載量2,300kg 数量：1台 型式：最大積載量2,700kg 数量：1台	委託 業者 町	a~hを一括収集

表-7 分別収集に必要な施設計画（その2）

施設の種別	対象とする容器 包装廃棄物等の 種類、量等	施設等の仕様（形状・型式・ 能力・数量等）及び整備計画	管理 主体 等	参 考 欄 （現有施設状況）
【中間処理段階】				
1 再生施設				
1.1 不燃物処理施設 ①選別・圧縮設 備	a スチール缶 b アルミ缶 c びん類	（仕様） 主要機器：磁選機、圧縮機、 缶選別機 （仕様） 無色、茶色、その他に選別	町 町 町	昭和52年度整備 昭和52年度整備 令和3年度整備
1.2 リサイクルセン ター ①選別・圧縮設 備	d ペットボトル e プラスチック	（仕様） 主要機器：減容機 （仕様） 主要機器：圧縮梱包機 能力：400kg/h	町 町 町	平成19年度整備 平成10年度整備 平成19年度整備
1.3 ストックヤード	c びん類以外	（仕様） 屋内：58㎡ 屋外：74㎡	町	昭和52年度整備
1.4 一時保管施設	c びん類	（仕様） 形状：バンカーサイロ 8ブロック 面積：663㎡	町	平成19年度整備

12 その他容器包装廃棄物の分別収集の実施に関し重要な事項

(法第8条第2項第7号)

町民や事業者の意見、要望を反映させ、容器包装廃棄物の分別収集を円滑かつ効率的に進めていくため、自治会等の協力を得て推進体制を整備する。

毎年度、分別収集計画記載事項の実績を確認、記録し、3年後の計画改定時には、その記録を基に事後評価を行うこととする。

策		定	:	平	成	8	年	9	月		
第	1	回	改	訂	:	平	成	11	年	6	月
第	2	回	改	訂	:	平	成	14	年	5	月
第	3	回	改	訂	:	平	成	17	年	6	月
第	4	回	改	訂	:	平	成	19	年	6	月
第	5	回	改	訂	:	平	成	22	年	6	月
第	6	回	改	訂	:	平	成	25	年	6	月
第	7	回	改	訂	:	平	成	28	年	6	月
第	8	回	改	訂	:	令	和	元	年	6	月
第	9	回	改	訂	:	令	和	4	年	6	月

(編集・発行 厚岸町環境林務課廃棄物対策係)